

慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター

2021 年度末公開成果報告会 プログラム

日時：2022 年 3 月 3 日(木) 13:00-17:30

場所：Zoom によるオンライン開催

Zoom ミーティング情報：

<https://keio-univ.zoom.us/j/85125388500?pwd=S0dLdnhBU2pETEdqQVBzVFJtejFyQT09>

ミーティング ID: 851 2538 8500

パスコード: 903386

開会の挨拶 倉田敬子（文学部長）

Session I 13:05～14:25 （座長：後藤文子）

遺伝と教育グループ

- 藤澤啓子（文学部）

『幼児教育の質評価に関する現状と課題』

生物心理学グループ

- 伊澤栄一（文学部）

『鳥類における個体間親和関係の形成メカニズム』

美学美術史学グループ

- 山根千明（本センター）

『アードルフ・ヘルツェルの色彩論とその受容例』

認知神経科学グループ

- 辻幸樹（本センター）

『購買頻度を反映する心理生理学的指標の探索：反応抑制に伴う事象関連電位を用いた検討』

休憩（15 分）

Session II 14:40～16:00（座長：皆川泰代）

社会心理学グループ

- 平石界（文学部）

『心理学における再現性危機の 10 年』

発達科学グループ

- 蔡林（本センター）

『乳児における非隣接依存文法学習の神経機構とその発達』

文化人類学グループ

- Gergely Mohacsi（本センター・大阪大学）

『医薬品汚染と草の根からの健康』

倫理学グループ

- Istvan Zoltan Zardai（文学部）

『'AI as Group Agent'』

休憩（15分）

Session III 16:15～17:15（座長：柏端達也）

哲学グループ

- 峯島宏次（文学部）

『論理的不一致の学際的研究』

- 高橋優太（本センター・お茶の水女子大学）

『論理推論とは何かー証明論的意味論の観点から』

感性科学グループ

- 川畑秀明（文学部）

『感性科学の多分野との連携・融合』

- 柴玲子（本センター）

『銅鐸の音響学：感性科学と考古学との連携・融合を例に』

民族学考古学グループ

- 山口徹（文学部）

『民族資料にみるカウンター・エスノグラフィとエイジェンシーの活用方法』

閉会の挨拶 梅田聡（文学部・本センター長）

17:30 閉会

主催：慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター (<http://www.carls.keio.ac.jp/gcarls/>)

お問い合わせ先：本報告会事務担当 E-mail: grcls.contact-group@keio.jp (森井)

企画：論理と感性のグローバル研究センター運営委員会